



©2019AP Fuzjko Hemming

フジコ・ヘミング & 広島交響楽団

”フジコの演奏には、20世紀初頭の巨匠たちの息遣いが脈々と流れている”

音楽評論家 道下京子



2020年6月3日(水) 19:00開演(18:00開場)

リーデンローズ 大ホール

料金/全席指定 S席:12,000円 A席:10,000円
B席: 8,000円 ※税込、未就学児入場不可

出演

フジコ・ヘミング(ピアノ)
マリオ・コシック(指揮)
広島交響楽団(交響楽)

プログラム

リスト：ハンガリア狂詩曲第2番 S.244 嬰ハ短調
シューマン=リスト：春の宵 S.568 R256
リスト：ラ・カンパネラ『パガニーニによる大練習曲』第3番 嬰ト短調
メンデルスゾーン：弦楽のためのシンフォニア第10番 ロ短調
モーツァルト：ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 KV.467
※曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【チケット取扱所】

リーデンローズチケットセンター TEL.084-928-1810
天満屋福山店4Fプレイガイド、スガナミ楽器本店、
久松レコード、フジグラン神辺
TSUTAYA(新涯店、伊勢丘店、松永店、府中高木店)
ローソンチケット 0570-084-006 Lコード：61986
チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード：181-200

主催/フジコ・ヘミングを聴く会

協力/中国放送
公益財団法人ふくやま芸術文化財団

【お問い合わせ】

フジコ・ヘミングを聴く会 090-3376-7274
リーデンローズ「フジコ・ヘミング&広島交響楽団」ホームページ
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/r-rose/176293.html>

※諸事情により記載内容が変更になることがあります。
あらかじめご了承ください。



フジコ・ヘミング(ピアノ)

日本人ピアニストの母とロシア系スウェーデン人画家/建築家ジョスタ・ゲオルギー・ヘミングを両親としてベルリンに生まれる。

5歳の時、帰国。以来母の手ひとつで東京に育ち、5歳から母、投網子の手ほどきでピアノを始める。青山学院高等部在学中、17歳でデビュー・コンサートを果たす。東京藝術大学在学中に、NHK 毎日コンクール入賞、文化放送音楽賞など多数受賞。

28歳でドイツへ留学。ベルリン音楽学校を優秀な成績で卒業。その後長年にわたりヨーロッパに滞在し、演奏家としてのキャリアを積み、レナード・バーンスタインほか世界的音楽家からの支持を得た。しかし「一流の証」となるはずのリサイタル直前に風邪をこじらせ、聴力を失うというアクシデントに見舞われる。失意の中、ストックホルムに移住。耳の治療の傍ら、音楽学校の教師の資格を取得し、以後はピアノ教師をしながら、欧州各地でコンサート活動を続ける。

1999年2月11日には、フジコのピアニストとしての軌跡を描いたNHKのドキュメント番組、ETV特集『フジコ～あるピアニストの軌跡～』で大反響を巻き起こし、デビューCD『奇蹟のカンパネラ』はクラシック界異例の大ヒットを記録し、2枚のCDで日本ゴールデンディスク大賞。4度にわたる各賞のクラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。モスクワ・フィル、ロイヤル・フィルなど世界各地の著名オーケストラと共演。現在、ヨーロッパをはじめ、ロンドン、北米、南米、ロシアなど世界中からリサイタルのオファーが絶えない。

2019年はサルガポーホール(パリ)、ウォルト・ディズニー・コンサートホール(ロサンゼルス)、カーネギーホール(ニューヨーク・2公演)、リスト音楽院(ハンガリー)、ウィーン楽友協会 ムジークフェライン(ウィーン)でいずれもSOLDOUTの大盛況を果たした。ウクライナではキエフ・フィル他各地で7年間連続コンサートを行いファンが増えている。

年間70本近くの公演活動で多忙を極める中、猫や犬をはじめ動物愛護への関心も深く、長年チャリティー活動も続けている。

公式ホームページ <http://fuziko.net/>



マリオ・コシク(指揮)

スロヴァキア国立放送交響楽団の指揮者として、国内のみならず、海外でも高く評価されている。多数の応募者の中から選出され、2000年カルロヴィ・ヴァリ・シンフォニー・オーケストラの首席指揮者に任命。これを機に、プラハ室内管弦楽団、プラハ交響楽団、ブルノ国立管弦楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団など、ヨーロッパでも有数のアンサンブル、管弦楽団や歌劇場に客演として招待される。モラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団との共演で2006年に初来日して成功をおさめ、その後日本には何度も招聘されツアーを行っている。定期的にスロヴァキア国内の指揮台に立ち確固たる地位を確立するほか、ドイツ、オーストリア、イタリア、スペイン、ポーランド、ブルガリア、ロシア等の様々な国の異なるオーケストラやアーティストと数々のコンサートを行い、国際的にも名声の高い指揮者として活躍を続けている。スロヴァキア、チェコの音楽界において最も注目を集めている新鋭指揮者のひとり。

広島交響楽団(管弦楽)

国際平和文化都市「広島」を拠点に“Music for Peace ～音楽で平和を～”をテーマに活動するプロオーケストラ広島は、下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>

